

改定環境基本計画の進行管理について

神奈川県環境基本計画（以下「計画」という。）は、令和6年3月に全面改定し、今年度から新たな計画に沿って環境施策を推進している。本計画の進行管理にあたっては、基本的な進め方を計画において示しているところであるが、このたび進行管理の具体的な方法案を、次のとおり取りまとめた。

1 改定計画の概要

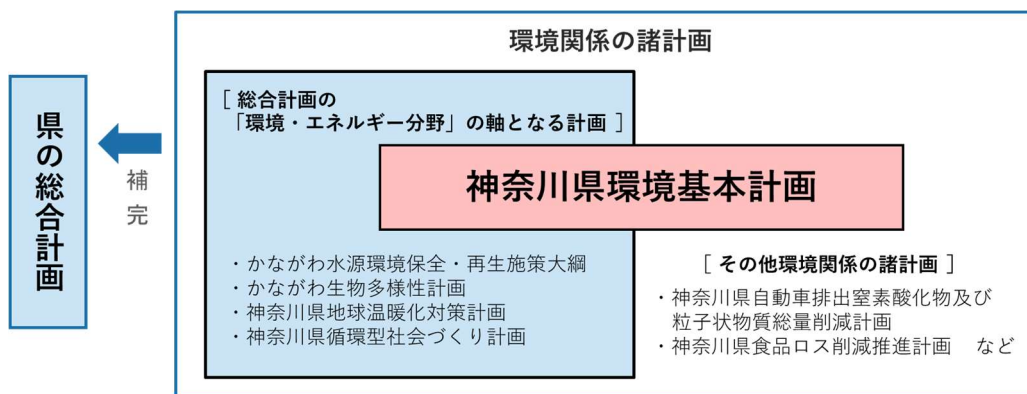
(1) 計画期間及び基本目標

計画期間：2024（令和6）年度～2030（令和12）年度までの7年間

基本目標：次世代につなぐ、いのち輝く環境づくり

(2) 計画の位置づけ

- 本県における環境施策を推進する上での基本的な計画であり、環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、神奈川県環境基本条例第7条に基づき、長期的な目標や施策の方向性等を定めている。
- 総合計画における政策分野「環境・エネルギー」の軸となる個別計画の一つとして、総合計画を補完するものである。
- また、環境関係のその他の諸計画は、それぞれの分野の施策を計画的に推進することで環境基本計画を補完し、連携しながら環境の諸問題の解決を図るものである。



(3) 改定のポイント

- 気候変動、生物多様性、資源循環等の環境をめぐる問題が複雑化・多様化している状況や、SDGsが目指す「経済」「社会」「環境」の3つの側面のバランスが取れたよりよい未来を実現するという考え方を踏まえ、各施策分野間の相互関係や、経済や社会といった環境以外の分野との関係性についても考慮し、統合的な課題解決を目指す視点を加えた。

- 環境の各分野において、個別計画・指針等が多数策定され、その内容がより充実したものとなっていることから、各施策分野を横断的に捉えるとともに、本計画が、環境施策における長期的な目標や基本的な方向性を示すものとなるよう改めて意識し、改定した。
- 計画の進行管理に活用する「指標」について、施策の効果を象徴的に表すことのできる内容に見直した。

2 進行管理方法案の概要

(1) 基本方針

- 各施策分野に設定した「指標」（2030年に目指す数値）を手がかりとしながら、指標の数値のみでなく、各分野の個別計画に基づく施策の実施状況を踏まえて、総合的に各分野の進捗を把握する。
- さらに、それぞれの取組が他の分野にどのような影響を及ぼすかなどの視点をもって、進捗状況を把握する。
- 上記により県が作成した報告書に対して、環境審議会は今後の計画推進に際して必要な意見を述べる。それらの意見は、今後の計画推進及び次回の計画見直しの際に活用する。また、報告書は環境審議会後、県ホームページで公表する。

(2) 進捗状況の点検方法（資料2-2、資料2-3、資料2-4）

<総合評価>

- 統合的な視点から評価を行うため、施策分野単位で把握した取組結果を踏まえて、計画全体を通じた<総括>を記載する。

<各施策分野の評価>

- 施策分野ごとに、下記の6つの項目に沿って、実績を把握の上記載する。

記載項目名	記載内容
①分野総括	各施策分野の進捗状況を総括した内容を記載する。
②指標の進捗状況	各施策分野の指標（2030年の数値）に対して、どの程度進捗しているか、進捗状況に対する分析・課題等とともに記載する。
③取組実績	計画の12ページ～14ページに、施策分野ごとの「施策の柱」と、その柱に基づいて実施する「主な取組」をまとめており、取組実績は、概ねこの「主な取組」ごと、又は「施策の柱」ごとに、簡潔に記載する。
④課題及び今後の取組の方向性	施策の柱ごとに、取組実績を受けての課題や、制度改正等も含む社会背景を踏まえて、来年度以降の取組の方向性や取組内容を記載する。

記載項目名	記載内容
⑤他分野への影響	<p>各分野の取組内容のうち、他分野へも影響があったと考えられる取組について、影響が大きいもの、特徴的なもの等を選択の上、記載する。</p> <p>記載にあたっては、どの分野に特に影響があったと考えられるか、また計画の施策分野に限らず、経済や社会への影響があったかも考慮して記載する。また、定量的な記載は困難であるため、定性的な記述とする。</p>
⑥参考(個別計画の状況)	<p>個別計画は各々において進捗状況点検を行っていることから、環境基本計画の報告書では全分野を大局的な視点で捉えて記載をするが、それにより説明が不足する部分を当項目で補う。</p> <p>報告書の構成上、上記の各項目には記載しにくいものの、個別計画において適切に取り組んでいることを補足した方がよい取組内容・指標・進捗状況等がある場合、当項目に記載する。</p>

【進捗状況点検における県記載項目の比較】

新環境基本計画 (2024~2030)	旧環境基本計画 (2016~2023)
新 分野総括	県による自己評価(環境指標及び施策の実施状況)
指標の進捗状況	県による自己評価(対応の方向性)
取組実績	重点施策の実績
課題及び今後の取組の方向性	個別計画の進捗状況
新 他分野への影響	
参考(個別計画の状況)	

(3) 点検結果・審議会意見の次年度以降への反映

- 点検結果及び審議会における意見は、進捗状況を踏まえ、施策への反映について検討を行う。
- 点検結果・審議会意見のうち、計画の基本的な方向に関わる内容は、各分野の個別計画と整合性を図りながら、計画の見直しを検討する。
- 環境分野のみならず、あらゆる分野の世界的な動き、国の動き等を注視しながら、必要な場合には、計画の最終年度を待つことなく、計画の改定を行う。

3 今後のスケジュール（予定）

令和6年12月 環境審議会で進行管理方法を審議

令和7年4月 新たな進行管理方法に基づき、令和6年度の進捗状況点検作業を開始

【参考】各分野の主な個別計画

分野	計画名称	所管所属	備考
気候変動への対応	神奈川県地球温暖化対策計画	脱炭素戦略本部室	第78回環境審議会において改定案を審議の上、改定
自然環境の保全	かながわ生物多様性計画	自然環境保全課	自然環境保全審議会において審議の上、改定（第78回環境審議会へ報告）
循環型社会の形成	神奈川県循環型社会づくり計画	資源循環推進課	第78回環境審議会において改定案を審議の上、改定
大気環境・水環境の保全、環境リスクの低減	神奈川県自動車排出窒素酸化物及び粒子状物質総量削減計画（大気関係）	環境課	神奈川県自動車排出窒素酸化物及び粒子状物質総量削減計画策定協議会において審議、環境大臣へ協議の上、策定（第78回環境審議会へ報告）
	東京湾における化学的酸素要求量等に係る第9次総量削減計画（水質関係）	環境課	第73回環境審議会において素案を審議、環境大臣へ協議の上、策定
横断的な取組	（個別計画なし）	（環境課）	—